

(3) 地震計の作り方

実験 その2

ふりこを使った地震計をつくってみよう。

材料

- ・ 糸つき電池(ふりこ)
たこ糸を単1乾電池に巻きつけたもの
- ・ ミニカップとねんど
お弁当用のミニカップの底にあぶらねんどを半分くらいつめる
- ・ クリップ
- ・ ペットボトル
2リットルの四角いペットボトル
- ・ 記録用紙(長方形の厚紙)
- ・ シャープペンシルのしん(3B)

その他、用意するもの

- ・ セロハンテープ
- ・ カッター・はさみ
- ・ せんまいどお
千枚通し



ふりこをつくりましょう

たこ糸を1mくらいの長さで切ります。そして、そのたこ糸を単1乾電池に巻きつけ、セロハンテープで固定します。



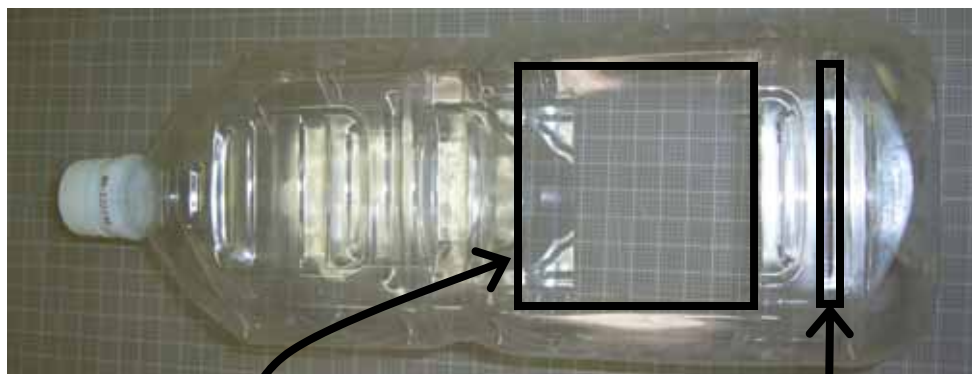
ミニカップの底のまん中に千枚通しで小さな穴をあけます。

ミニカップの底にねんどを半分くらいつめ、乾電池の下に取りつけます。



ミニカップの底からシャープペンシルのしんをさし、数mm出して残りを折ります。

ペットボトルを写真のように両面とも切ります。



切り取る

幅約5～7cmに細長く切り取る

(両側の高さをそろえよう)

ペットボトルのふたに千枚通しで穴をあけます(たこ糸をとおすため)。

ペットボトル内にふりこをとりつけましよう。

ペットボトルの中にふりこの糸をとおし、さらに糸をふたのあなにとおします。

(ペットボトルは約30cmなので、ふりこの周期は1秒になります。)



ペットボトルの切り込みで手を傷つけないようにしてください。

厚紙をペットボトルの下のあなに入る大きさに切ります。

シャープペンシルのしんが記録用紙(厚紙)につくようにふりこの糸の長さを調節し、糸が落ちないようにクリップでとめます。

かんせい
完成!

しょうがくせい
小学生のみなさんへ

カッターナイフや千枚通しを使うときは、

保護者の方に手伝ってもらいましょう。



